

道徳通信

No.8 2022年(令和4年)7月1日(金)

学習日：6月30日(木) 内容：「北朝鮮による日本人拉致問題について」

1977年11月15日、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、部活動の下校途中に行方不明になりました。その後のさまざまな証言により、横田めぐみさんは北朝鮮に拉致されたことがわかります。突然、幸せな日常をうばわれた横田さんの家族について考えることで、自分の家族とのかかわり方について考えてみましょう。

【生徒の考え】 授業後に考えたこと、感じたこと

何気なく過ごしている日常や家族は決して当たり前なものではないと気づいた。自分の当たり前だ感じていることに、1つ1つ感謝をもって行動しようと思った。

家族がいるから、今のような楽しい生活ができ、笑顔で学校に通うことができているんだと今回の学習を通して、考えることができました。

拉致の怖さやまだ帰ってこれない現状、北朝鮮などの対応を知ることができて、1日1日の大切さや、1人でも多く帰ってこれるようになって欲しいと思いました。

自分の周りで起きていることは、ささいな事でも自分事だと思い、その起きている事を防ぐことはできないかもしれないけれども、そのお手伝いをするという気持ちで受け止めたい。

自分の妹がもしも拉致や誘拐にあったらと考えると、とても怖いです。今日学んだことを家族に話して、理解を深めていきたいです。

誰も予想していないことが当然起きてしまう現実にとっても悲しいなと思いました。必死で大切な人を探しているのに、誰も協力していなかったアニメの場面が少し悲しいなと思い、私は募金だけでも協力したなと思いました。

大切な今を、一度きりの今を、大事にしながら生きていきたいと思った。家族との日々を後悔しないように送ってきたい。

北朝鮮による拉致問題は今も解決していない問題です。問題の解決には時間がかかるかもしれませんが、私たち全員にできることがあります。それは、毎日を大切に過ごすことです。自分のかけがえのない日常を丁寧に過ごすことから始めたいですね。